

香川県議会議員

山本悟史

さとし



県政レポート

2012年夏号 **がんばろう NIPPON**

こんにちは。山本悟史です。今年も暑い夏になりました。節電も大切ですが、体調を崩さないように御留意ください。今後も県民生活を守る視点で諸課題に取り組んでまいります。引き続きの御指導・御鞭撻をお願い申し上げます。

8度目の被災地へ

7月下旬から、福島をはじめとする被災地を訪れました。

初日は上京して、原子力規制庁についての情報収集。

二日目から福島へ移動して、「自治体職員有志の会」シンポジウムへ。県職員時代以来6年ぶりの参加です。

伊達市長から震災対応の、そして飯坂温泉の女将さんからは被災者受け入れの話聞かせていただきました。

▼7/21 熱気に包まれたシンポジウム



山本

三日目は震災後のまちづくりとあんば柿の除線・出荷再開への取り組みを聞かせていただきました。

▼7/22 農家の方と意見交換



山本

四日目は仙台空港まで移動し、県議会の環境建設委員会の一行に合流。バスで再び福島まで南下し、被災した海岸を視察しました。私自身14カ月ぶりの相馬地域でしたが、確かな復興を感じたところもある一方で未だに当時と変わらぬままのところもあり、やはり震災瓦礫の処理が大きな問題となっています。

五日目は岩手へ。震災時の水道供給対応と下水を利用した地域熱供給システムの話を聞かせていただきました。余談ですが、岩手は水量が豊富で、湯水に悩む香川の者にとっては本当にうらやましい限りでした。



▲7/23 被災したままの大浜海岸



山本

▲7/23~25 委員会東北視察

六日目は秋田のエコプラントを視察。稲わらからバイオエタノールを精製する技術は確立されても、商品として市場で流通するにはかなりの課題があり、現実の「エコ」の難さを再認識しました。



山本

▲7/25 バイオエタノールプラント視察

今回の東北視察で再認識したことは、風評被害の影響です。確かに原発事故は大きな問題ですが、東北ではしっかりとそして普通の生活をされている人はたくさんいます。遠くから無責任に騒ぎ立てるのではなく、自分たちが同じ目にあつたらどうなるのか？という視点で、故郷でがんばる人たちと積極的に関わりながら、今後も香川の防災・減災対策に取り組みしていきます。

行動力あり!

主な議会外活動報告

4月 仙台・福島へ



入学式ラッシュの後、7度目の被災地へ。仙台では旧知の職員に案内してもらい、沿岸部の被災現場と震災瓦礫の処分場を視察。そして、福島では風評被害に負けずまちおこしをしている東北のみなさんと交流してきました。

6月 インタビュー掲載

毎号、地元で活躍されている方が掲載される無料求人広告誌に、私も取り上げていただきました。気恥ずかしい限りですが、若い人に少しでも地方政治家という職業への関心を持ってもらいたいと思っています。



5月 沖縄へ

若手地方議員の勉強会で沖縄へ。まずは平和祈念公園を訪れ、本県出身者の慰霊碑の前で御霊の御冥福を祈りました。そして、那覇市役所では一括交付金と若者の就労対策について関係者と意見交換を行いました。



7月 学校現場視察



高井美穂文科副大臣の学校視察に同行しました。最近建てられる学校は木材をふんだんに使って、とても明るい感じですよ。お昼は関係者で給食を食べながら、学校現場が抱える問題を本音で話し合いました。

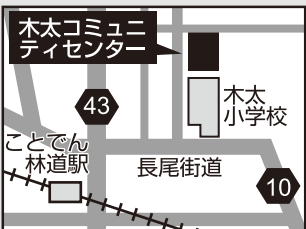
県政・市政報告会

日時 9月2日(日)

場所 11時~12時

木太コミュニティセンター2階

ぜひ、お越しください。



エネルギー問題

4月には伊方原子力発電所と松山太陽光発電所を、5月には坂出火力発電所とLNG(液化天然ガス)基地を、そして7月には首相官邸付近の反原発デモの視察を行いました。また、8月には細野環境・原発担当大臣とも意見交換を行いました。今後も積極的に現場に足を運んで、自分自身で考える政治家であり続けます。



▲小川代議士、細野大臣と

2012/7/10

山本悟史(民主党議員会)

1 生活保護行政

山本 適切な生活保護行政を実施していくためには、マンパワーの拡充しかない。ケースワーカーの確保と育成、さらにはOBや専門家の活用が効果的だと考えるが、如何か？

知事 県内では高松市がケースワーカー一人が担当する被保護世帯数が標準数をオーバーしており、適正に人員配置するよう指導を行っている。また、面接相談員や就労支援員として退職者や専門家を配置し、業務に専念できる環境の整備を行っている。

2 電力の安定供給問題

(1) 節電対策

山本 過度な節電や無意味な節電が、健康面や経済活動に影響を与えることがあつてはならない。電力供給量に応じた

冷静且つ賢い節電対策こそが必要だと考えるが、如何か？

危機管理総局長 電力需給見通しは適切なタイミングでわかりやすく、正確で詳細な情報が重要である。まずは、四国電力に対して適切な情報提供を要請していく。

(2) 停電対策

山本 停電は社会災害の一種と認識した上で、その防止と発生後の減災対策を地域防災計画などの中にしっかりと位置付けて対応していく必要があると考えるが、如何か？

知事 今後、地域防災計画への停電の位置づけを検討していくとともに、万一停電に陥った場合にも健康や経済への影響を最小限にとどめられるようしっかりと取り組んでいく。

(3) 今後のエネルギー政策

山本 県民生活を守るためには、四国のエネルギー政策について4県がまとまって一定の方向性を打ち出すべきではないか。その際はゼロか百かではなく、「現実と将来を見据え」た選択をすべきと考えるが、如何か？

知事 エネルギー選択、それと表裏一体の地球温暖化国内対策に関しては、国が責任を持って結論を出していく必要があると考える。



▲伊方原子力発電所視察(4/20)

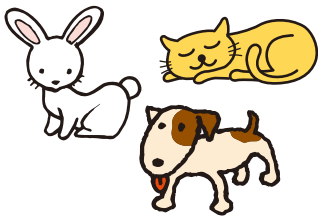


▲坂出火力発電所視察(5/31)

トピックス 「実現しました!」

① 被災ペットの保護

昨年9月議会で私が取り上げたこの問題、6月に香川県と県獣医師会、穴吹学園との間で「災害時における被災動物の救護活動に関する協定」等が結ばれました。これに終わることなく、防災・減災、そして動物愛護の問題にも積極的に関わっていきます。



② 香川県中小企業振興条例

条例検討委員として、関係者の意見を聞きながら当該条例制定に関わりました。今後は条例の中身がいかせるような具体的な施策を、みなさんと考えていきたいと思っています。

環境建設委員会での質問

(6/28・29)

- BDF(バイオ・ディーゼル・フューエル※)の普及
※生物由来油から作られる軽油代替燃料
- 震災瓦礫の広域処理問題
- 高松港の利便性の向上
- 道路の交通安全対策



▲6/12 BDF精製プラント視察

もっちゃん「悟」録

◆今年度の所属委員会は常任が「環境建設」で、特別が「公共交通・地域再生」となりました。

◆昨年度の政務調査費はすべて『真政レポート』関係(印刷費・新聞オリコミ・ポスティング代)で、330万円余りを計上しました。

◆春先にメニエール病になってしまいました。一回目は東京、2回目は仙台で、3回目は委員会出席前に強烈なめまいと吐き気に襲われ、初めて議会を欠席する羽目になりました。原因はストレスだそうで、おかげさまで今は治っているのですが、これを契機に日本の医療制度についても勉強するようになりました。

◆5月には政府主催の「社会保障と税の一体改革」の対話集会に参加。私自身は先の病気のこともあり、社会保障の重要性は再認識しているのですが、それでも地域主権を基にした国の行革や国会議員の定数削減など先にやる必要があるという思いは変わりません。

◆最後になりますが、どうかみなさま健康には御留意ください。



県議会(民主党議員会)
〒760-8570 香川県高松市番町4-1-10
Tel:087-832-3675 Fax:087-831-4719
Email:s-yamamoto@gikai.pref.kagawa.jp
※土日祝日は原則お休みです。

所属政党事務所(民主党香川県連)
〒761-8072 香川県高松市三条町315-3
TEL:087-868-0028 FAX:087-868-0109
※土日祝日は原則お休みです。

自宅(後援会)
〒760-0080 香川県高松市木太町2735-3
TEL&FAX:087-833-3650
Email:mossan1968@ybb.ne.jp
※留守番電話になっているときは、メッセージを入れていただくと助かります。

行動力あり!

山本悟史 活動報告ブログ

随時更新中

http://mossan2.com

mossan.com

山本悟史 ホームページ

Facebook http://ja-jp.facebook.com/mossan2

Twitter http://twitter.com/mossan1968